

ウクライナ等難民支援活動

(日本航空学園と東ヨーロッパ支援協会による難民、救援合同事業)

学校法人日本航空学園（Japan Aviation Academy、略称 JAA）は東ヨーロッパ支援協会（Eastern Europeans Support Association、略称 EESA）と共にロシア侵攻に始まった戦災難民の日本への受け入れに対する救援活動を非政府機関として実行する。

1. 日本航空学園は先週外務省出入国在留管理庁在留支援課に対し日本航空高等学校国際部を窓口としてウクライナの難民となった家族の受け入れを行うことを申し入れた。
2. 受け入れ対象難民（国連が認めた人々、認めない人々）UN PROTECT AREA（国連保護区）内の人々、外にいる人々
3. 大人には就労可能な企業等を紹介（航空関連産業、社会福祉団体等）
4. 小学校、中学校、高校、専門学校、大学等への入学
留学支援活動、それぞれ個々の希望をヒアリングして可能な限り進路支援をする。日本航空学園では日本航空高等学校（普通科、航空科）日本航空大学校（航空整備、CA、グランドハンドリング、航空設計等の知識・技術修得）への留学、入学受け入れを行う。
5. 日本での生活、学習に関する費用は JAA と EESA が政府、自治体へ支援を依頼する他、一般企業から寄附を集めることとする。
6. 生活場所については JAA の職員宿舎及学生寮生徒寮の空き部屋を提供（不足した場合は民間賃貸を探す）

7. 日本航空学園理事長梅澤重雄（69）は日本青年会議所国境なき奉仕団の本部長として 50 歳まで活動、ミャンマー難民（ロヒンギャ、カレン）カンボジア難民、クロアチア、セルビア難民、ソマリア難民、ルワンダ難民、救援活動を指揮（全て現地に赴いて国連や各 NGO と調整し、保健衛生センター、子供病院建設を行った。この経験を生かし活動を決意した。
8. 東ヨーロッパ支援協会理事長西本章悟（27）は神戸大学法学部で安全保障理論と EU の難民政策を専攻、同大学大学院とポーランドのヤゲロニアン大学修士課程では日欧交流についてその歴史を踏まえた包括的研究を行った他、スロバキアのコメニウス大学に留学しスラブ系文化を学び、現在はロシア語、ウクライナ語、ポーランド語等の通訳を行っている。ウクライナとその周辺国にいる多数の友人の救援に立ち上がった。
9. 日本航空学園は山梨の日本航空高等学校、日本航空高等学校附属中学校、石川に日本航空大学校、日本航空高等学校石川、北海道に新千歳空港キャンパス、日本航空大学校北海道には国際部があり日本語教育も行っている。すでに現在各キャンパスにタイ、モンゴル、中国、韓国、トンガ、セルビア、ナイジェリアからの留学生が 30 数年前からきている。学校全体で国際支援プロジェクト及び国内大震災救援プロジェクトを行っている。留学生の受け入れ等については経験が豊富である。
10. ウクライナ、ロシア等国籍にとらわれず生活困難な難民については可能な限り救援活動を行う。現在もシリア、ミャンマーに於いても難民が多数発生している。